

発行所: (株)ウチヤマホールディングス 〒802-0044 北九州市小倉北区熊本2丁目10-10 電話: 093-551-0002

発行日: 平成29年8月20日
編集: 岡田直紀・八尋有紀・小橋佳緒里
監修: 内山文治・吉岡信之東証一部上場
(証券コード:6059)

被災地の高齢者を救え!

九州北部と秋田県で 集中豪雨被災者を無償受け入れ

平成二十九年七月、全国各地を集中豪雨が襲いました。特に被雪の大きかった九州北部地域と秋田県においては、ウチヤマグループとして被災された高齢者に対する介護施設での無償受け入れを表明し、住む場所を失った方々の生活を支えています。

さわやかいすみ館 地域貢献できる施設を目指して

七月五日の午後三時頃、突然豪雨が降り始め、勢いは止まることなくどんどん激しくなるばかりでした。玄関から外を眺めると、駐車場はまるで川のようで、今にも玄関へ濁流が流れ込みそうな状況でした。危険を感じて急いで玄関前に土嚢を敷き詰めました。それから施設の安全を確認し、職員全員の安否確認したところ、土砂崩れや冠水等で自宅に帰れない職員もいました。また、こすもす館の職員も帰宅途中に車ごと濁流に流されて命からがら車から脱出し、そばにあった木に約六時間しがみついていたところで、自衛隊に保護されたとのことでした。

翌日、地元の変わり果てた姿をニュースで見て驚きました。きっと困っている方々がいると思い、何かの形で手助けができないかと考えました。そこで本社より被災者の無償受け入れを表明してもらい、社用車に大きく「被災者無償受け入れ口設置」と貼り出して、被災地、避難所を訪問することにしました。直接無償受け入れの告知をしたり、困っている方がいないか等を訪ねて回り、朝倉市の非常災害対策本部や各避難所にも情報発信を行いました。

いすみ館近くの避難所に避難されていた井手様は、ご自宅が濁流で流されており、同居されていた八十七歳のお母様の安全を考え、いすみ館へ連絡をされました。七月八日にお迎えに行くと、井手様は不安な面持ちで気持ちも沈んでいらっしゃるようでした。幸いなことに、従姉妹にあたる方がたまたま入居されておられ、久しぶりに再会に表情も緩み、言葉数も増えてきました。一週間過ぎた頃には、少しずつ慣れてきた様子で表情も明るくなり、今ではすっかりいすみ館の一員としてごゆっくりと過ごされています。

現時点では、いすみ館で一名、こすもす館で二名、春日館で二名の方を受け入れさせて頂いています。さわやか俱楽部は全国各地で施設を運営しており、さらには専門職が配置されているので、今回のような非常災害時に必ず知識・技術を含めて力になれる事があると感じました。今後、非常災害対策のさらなる強化を図り、地域貢献できる施設を目指して一步一歩前進していきます。

(施設長・小津和 真徳)



↑井手様とご家族



↑駐車場当日状況

(施設長・柳本 雅樹)
↑伊藤様ご夫婦

地域とともに

地域に根差し

さわやか桜館

七月二十二日より二十三日にかけて、秋田県を中心にかつて経験したことがない大雨が降りました。県内全域で河川の氾濫や土砂崩れが発生し、二万人以上の県民に避難指示が出されました。桜館の目の前の川も氾濫し、駐車場の三分の二以上が濁流に覆われてしまいました。今困っている方々への迅速な救援のため、本社へ相談して被災された方々の無償受け入れを行うこととしました。

各メディアで報道して頂いたこともあり、地域包括支援センターや居宅事業所よりすぐに問い合わせが入りました。現在は三名の方を無償で受け入れております。家屋の床上まで浸水し、ご自宅で生活が出来ない状況となつた一人住まいの方と、伊藤様ご夫妻です。伊藤様ご夫妻は、今までお互いに他事業所の短期入所を利用しながら在宅生活をされてきました。しかし、その家屋も大きな被害を受け、現在はとても住めることができない状況にありません。今後の暮らしに非常に不安を感じられています。

被災した故郷秋田の施設として今後も地域に根差し、受入をした方々が不安なく笑顔で、またご自宅でお過ごしできる状況になるまで、全職員で支援を行っていきます。





デキる施設管理者への道

さわやか俱楽部 管理者研修

7月11日から15日にかけて、さわやか俱楽部では施設の管理者を対象とした研修が行われました。今回は管理者としての経験が浅い施設長や、これから管理者を目指す副施設長など、総勢22名が参加しての研修となりました。内山社長をはじめとする幹部から、会社の理念や管理職としての業務、心構えなどの指導を受け、夜は施設に泊まり込みでレポート作成に励みました。最終日には全管理者が集まる経営戦略会議の中で、研修参加者全員が力強く決意表明を行いました。

さわやか桜式番館

二部剛志副施設長の日報より

管理者研修4日目です。1日が早いです。まだまだ学びたい、勉強したいという気持ちが強いです。見るもの、聞くこと、一つ一つが勉強になります。同じことで悩んでいる管理者も多くいます。部下の動かし方や人員不足の対応などについて、私はこうしている、私はこうして失敗した、成功したなど、貴重な意見交換ができました。研修が終わっても、この研修に参加した仲間を大事にします。全国に仲間がいることはとても心強いです。もちろん仲間でありライバルです。今回の関わりで成長できたことを現場で活かします。



STAR No.114
田添 友里さん 25歳
さわやかくきのうみ保育園(北九州市若松区)
保育主任・管理者

光り輝くスタッフをご紹介! キラリ★一等星

さわやか俱楽部に入社する前は幼稚園に勤めていました。たくさんの子どもたちに囲まれ、充実した毎日でした。子どもたちにどんな保育をしよう、どんな楽しいことをしよう、何をしたら喜ぶだろう、そんな事を毎日考えながら仕事をしていました。

その中でも、今よりもっと子ども一人ひとりとしっかり向き合い、成長・発達にあつた保育をしたいという気持ちがとても大きくなりました。そんな時、新しくオープンする介護施設「さわやかシーサイドくきのうみ」の中に事業所内保育園が開所することを知り、ここで自分の目指している保育がしたいと強く思い、求人に応募しました。

今年の6月にさわやかシーサイドくきのうみがオープンして、初め

は6名の子どもたちが入園しました。最初は新しい環境が不安で、お母さんと離れることに泣いていた子どもたちが、今では笑顔で「おはよう」と登園して、お母さんに「いってらっしゃい」と言えるようになりました。笑顔で登園して来る子どもの姿を見たときは1番嬉しかったです。

保育園では、子どもの1日の生活や発達過程を見通して保育の内容を計画し、実践しています。子どもたちのできなかつたことができた瞬間を見たときはとても嬉しく、またやりがいを感じています。子どもたちが保育園に行きたい!楽しい!と思うような保育園づくりをしていきたいです。もう少し涼くなったら、遠足にも連れて行ってあげたいです。

休みの日はよく買い物に行きます。最近はカメラを買ったので、いろんな場所に出かけたいです。まだまだわからないこともたくさんありますが、常に笑顔でこれからも頑張っていきます!



皆さんの日報をご紹介します。
ウチヤマグループで働く



林 愛琳裘さん [コロッケ倶楽部 久留米合川店] 福岡県久留米市

旦頃にキッズルームにご夫婦が赤ちゃん連れてご来店されました。受付して、しばらくすると奥様がフロントに来られ、本日がご主人様の誕生日なので、日頃の感謝を込めてサプライズをしたいとのこと。奥様と打ち合わせをして、フォンダンショコラをのせたプレートにチョコソースで「HAPPY BIRTHDAY」と描き、星花火をつけてサプライズをしました。ご主人様も奥様も喜んで下さり、温かなご夫婦を見て私もほっこりした一日でした。



皆見 祐子 ホーム長 [さわやかグループホームむろらん] 北海道室蘭市

本日は入居者様の笑顔がとても素敵で、思わず自然とこちらも笑顔になっていました。やはり入居者様とのコミュニケーションは、本当に大好きんだと実感しました。笑顔で接すると、周りも明るくなると言いますが、暗い顔よりも笑顔の方が絶対に良いし、相手に不快な思いをさせないので、とても良い言葉だと思います。でも私は作り笑いはしたくありません。自然と出る笑顔が一番です。介護職をしていて作り笑いは出した事はありません。自信があります。

産んでくれて、
育ててくれて、
ありがとう。

[さわやか宗像館] 福岡県宗像市

櫛引 松武 サブリーダー



私がこうして三十六年間、健康な身体で生きてこられたのは、お父さん、お母さんのおかげだと心から感謝しています。父は土木作業員として定年まで働き、今は実家の青森で春は山菜取り、夏は海に潜ったりして元気に過ごしています。子供のときは少し怖い存在でしたが、年を重ねることに角が取れ、合うたびに白くなっていく髪と一回り小さくなったように見える姿を見ると、自然と感謝の念を覚えます。母は専業主婦として、我が家を出るまでの二十八年間、身の回りの面倒を見てきました。私が高校を途中でやめてから十二年間ほど、家に引きもっていたこともあります。今後はいろいろな形で恩返ししていくと思います。

さわやか宗像館に勤め始めてもうすぐ二年半になります。介護の仕事を続けていけるか不安な時期もありました。今は仕事仲間や入居者様に支えられて続けられています。今後も入居者様には一日一回は笑っていただけるように接していくたいと思います。また、後輩には的確に指導が出来るよう基本を見直し、解かりやすく伝えられるような指導方法についても試行錯誤していくことを思っています。今後も入居者様には一日一回は笑っていただけるように接していくたいと思います。また、後輩には的確に指導が出家を出でからいろいろありました。お父さん、お母さん、私を産んでくれて本当にありがとうございます。

両親へ、感謝の気持ちを込めて…

おたよりのじ紹介

さわやか小規模多機能中原館

七月六日の七夕祭りお食事会にお招き頂きありがとうございました。入所の方と一緒に食事をしたり歌ったりゲームをしたりして、楽しいひと時を過ごすことができました。入所の方たちを見て、少し母のことを思い出していました。私は最後まで毎を見る

と自分に言い聞かせ思っていました。しかし私が骨折したりしてできくなり、毎も最終的に入所することになりました。毎も入所して楽しい時があつたかなあとと思いました。さわやかの施設に入所されている人たちが、少しでも今日が楽しかったと思えればいいなあと思います。(中略)何をするにしても職員の皆様本当に大変ですね、お疲れ様です。またいつか機会があつたら、みんなで炭坑節でも踊りたいと思っています。暑い中ご自愛ください。ありがとうございました。

(福岡県北九州市・町内自治会の佐藤様より)

さわやかシーサイドくきのうみ

この度は祖母がお世話になりました。さわやかシーサイドくきのうみにて、祖母との貴重な時間を過ごすことができました。訪問看護師さんのお言葉、不安で不安でたまらないかた私の道しるべになりました。くきのうみの看護師さん、介護士さん、スタッフの皆さん、祖母への対応とても感謝しております。私もまだたくさん声をかけて下さり、本当にありがとうございました。さわやか倶楽部で皆様と祖母と過ごすことができて本当に良かったです。ありがとうございました。

(福岡県宗像市・池本様より)



バーベキュー

愛の家せとうち館では『バーベキュー』をしました。子どもたちは元気いっぱいいつものは食の細い児童もたくさんバーベキューを食べてくれました。

まずは午前中に自分たちの食べる「おにぎり」をお椀とラップを使って上手に作りましたよ。昔話に出てきそうな美味しそうなおにぎりがたくさんできました!安全に見守りながら、野菜を乗せてくれた児童も!お肉・ウインナー・玉ねぎ・ピーマン・ナス・キャベツを食べました。季節のお野菜は職員の実家の取れたてお野菜です。敷地内駐車場でテントを立てて行いました。食事のあとは「シャボン玉」を作って遊びました。上手にシャボン玉ができるようにストローに細工をしています。バーベキューコンロとテントを貸してくださった「さわやか愛の家さいだいじ館」の綱島管理者へ心より感謝申し上げます。(伴野 順子)



新潟まつり

『新潟まつり住吉行列』を見学してきました。大阪の住吉様と同じ航海の神様、湊町ならではの祭りです。新潟總鎮守の白山神社の祭りと併せて新潟まつりとなりました。

みなと館のすぐ近くにも住吉神社があります。いよいよ住吉行列がやってきました。笛の音や太鼓の音が聞こえ出し、入居者様も心うかれています。山車もきました。特等席に椅子を並べて行列を楽しめます。

いよいよ住吉神社の神輿が登場です。メインの古町通を上って白山神社に宮入です。3日間の新潟まつりがこれで終わります。新潟の夏が一つ過ぎていきました。(早川 聰)



さわやかだより

みんなのお便り
集めました!



動物も夏バテ

岡山市内にある池田動物園にみんなで行きました。暑い、暑い…とにかく暑い。子供たちが途中でバテて帰りたいと言わないかと心配したのですが、子供たちはとても元気。反対に動物たちが夏バテしているのか、「お~い、クマさん」と呼んでも片目だけ開けてチラッと見るだけ、完全に夏バテしているクマさんでした。



暑い中でも子供たちは動物園の急な坂もさっさと足取りも軽く、反対に職員の方が「待って…待って」と必死についていく状態でした。



途中、小動物とのふれあいの時間があり、子供たちは小さい動物に触ることができて本当にうれしそうな笑顔が見られました。楽しい遠足でした。(綱島 奈都代)



大輪の花火の下で

さわやか海響館の夏祭りは毎年、夕暮れの屋上で始まります。若戸大橋越しに見える花火を入居者様もご家族様も楽しみにしています。

花火が上がる前に、恒例の施設長ライブで盛り上がりまず。片村施設長の歌声と共に入居者様も「腕のリハビリいいよね」とタオルを振って気分も上々です！



夜空には三日月と一番星がキラキラ輝くそばで、大輪の花火が次々と上がりロマンチックな打ち上げ花火をみることができました。(園田 忍)



第四回 夏祭り



台風5号の進路が気になる中、晴天に恵まれ第四回夏祭りが開催されました。朝から準備に追われ、沢山のカラフルな飾りに会場がにぎやかになりました。

トップバッターは入居者様と職員によるコーラス部の発表です。事の始まりはライフマップのニーズから「昔コーラスをやっていたのでまたやりたい」の声で発足しました。3ヶ月頑張って練習し、3曲発表する事ができました。他の入居者様から拍手喝采で練習の成果もあり堂々と歌われていました。



他にも職員による花笠音頭、南中ソーラン節と、職員も頑張って練習しました。広報活動のおかげで来館数100名達成しました。今年の夏祭りも大盛況で終える事が出来ました。(岡本 加奈子)



今年も大盛況!!

夏祭りを行いました。イベント前から入居者様は露店にて買い物をされたり、射的や金魚すくいなどを楽しんでいました。イベントが始まると、入居者様方も素敵な踊りを披露して下さいました。

また、ボランティアの方々による、フラダンスやオカリナ演奏などもあり楽しめています。終盤のスイカ割りでは職員だけではなくご家族様にも参加して頂き大盛り上がり。最後は恒例の盆踊りで締め、大盛況で今年も楽しい夏祭りとなりました。(出光 亜矢)





ウチヤマグループ代表 内山 文治

時代の変化に対応しよう

インターネットの普及に伴つて、私たちの生活スタイルも大きく変わっています。今までのやり方や常識が通用しなくなり、油断するとあつという間に取り残されてしまつ、そう感じるほどの急激な変化を感じるようになつています。

流通・小売業界では、インターネット経由での通信販売(以下「ネット通販」)が普及拡大し、利用者は世界中で増加傾向にあります。ネット通販の利用率が年々上昇しているアメリカにおいては、全体の半数に近い世帯が大手企業「Amazon」の有料会員であるとの調査結果も出ています。ネット通販の利用拡大が原因となつて、アメリカのスーパー・ショッピングモールが大量閉店や倒産に追い込まれる事態にまで発展しており、すでに廃墟と化しているところもあります。日本でも同じような兆候は表れており、ネット通販の拡大が三越、そごう、松坂屋などの大手百貨店が店舗を閉鎖する大きな原因の一つとなっています。一般的なスーパーでもこのような傾向が見られ、日本の流通業界にも変革の波が押し寄せてきています。また、ネット通販で購入された商品の配送を担うドライバーへの負担も大きくなつており、ヤマト運輸や佐川急便などの宅配各社は、料金の値上げと合わせて従業員の働き方改革に着手せざるを得なくなつているようです。

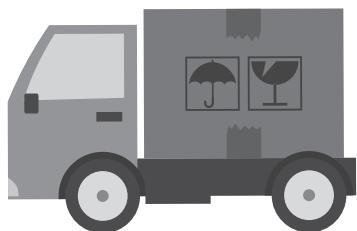
商品やサービスに対して価値を感じる消費者側の意識にも変化が見られます。これまで、モノ(商品)を得ることで自身のステータスを高めていた「モノ消費」の時代でした。テレビや洗濯機、冷蔵庫などの商品は人々の生活を豊かにするものとして必要とされてきました。しかし現在は、ほとんどの世帯でこれらを所有しており、機能的な価値観だけでは満足しなくなつてきています。すでに物質的な豊かさがある中で、さらに充実した生活を送れるよう、精神的な豊かさを求めている消費者

感情が「コト消費」へつながっています。旅行客が増えているのは、経験、体験によって得られる価値を現代人が必要としている表れだといえます。

Amazonなどのネット通販のメリットは時間に余裕ができることであります。わざわざ店舗に行かなくても買い物ができるので、旅行、外食、娯楽などに時間を活用できるようになります。

買い物はネット通販で済ませ、空いた時間を旅行、外食、娯楽に充ててゆつくりと過ごす、今後はこれが人々の新しい時間の過ごし方になつてくことでしょう。また、経済的に余裕のある富裕層は、子供の教育にもお金をかけています。少子化の傾向においても、高度な知的産業の需要はこれからも伸びていくことが予測されます。

世の中は日々変化しています。自動運転車、AI、IoTといった科学技術の進歩や、過重労働を是正する働き方改革などにより、人々の生活スタイルもこれからまだ変化していきます。私が今年の五月に訪れた北欧諸国ではキャッシュレス化が進んでおり、現金が使えないお店も多くありました。この流れも早晩日本にやつて来るはずです。私たちはこうした変化の速い時代の流れに身を置いて、日常生活を送っています。人々が求めるものも時代とともに変化していきます。その変化に対応できなければ、企業として生き残ることはできません。ちよつとした変化も見逃さないために、日頃から情報収集を積極的に行い、勉強することが大切です。勉強すればするほど、新たな発見があります。その新たな発見が、次の変化を生み出すきっかけとなるのです。常に社会の動きに关心を持ち、本や新聞を読んで時代の先を読み、変化に対応できる力を身に着けていきましょう。



今月の
おすすめ

図書



- 1 日本文庫全集 芥川龍之介集
(芥川 龍之介)
- 2 人生の意味が見つかるノート
(小沢 竹俊)
- 3 「やさしいのがつこう~とまとちゃんのたびだち~」
(なかや みわ)
- 4 ちいさなへいしたい
(パウル・ヴェルレント)
- 5 「へいわつてすてきだね」
(安里 有生 詩/長谷川 義史 画)
- 6 「体を温める」と病気は必ず治る
(石原 結實)
- 7 やさしいのがつこう~とまとちゃんのたびだち~
(なかや みわ)
- 8 ちいさなへいしたい
(パウル・ヴェルレント)
- 9 「へいわつてすてきだね」
(安里 有生 詩/長谷川 義史 画)
- 10 「やさしいのがつこう~とまとちゃんのたびだち~」
(なかや みわ)

現場第一主義

八月になると、ボナーのカラオケ・飲食部門が繁忙期に入り、社内も活気が増してくるように感じます。また、お盆の時期には介護施設にも多くのお客様が来られます。入居者様の家族、ご友人の中には、めったに来館できない方も多い、お盆の帰省の機会に立ち寄られる方は非常に多くおられます。お盆の時期に向け、各施設とも普段より更に張り切って、館内の飾り付けや行事の写真の掲示、草木の手入れなどをやって、お客様に気持ちよく来館して頂けるように準備を進めています。また、普段施設で勤務している社員では気付きにくいことを、第三者的な目で客観的に見て改善する為、本社の役職員も現場の見回りに力を入れています。

私も先日、北九州市内にある介護施設「さわやか新門司館」へ久しぶりに行きました。施設に入ると、目の前にあるエレベーター前で、五名程の入居者様がエレベーターを待つておられました。私も話しながら一緒に待っていたのですが、上の階にあるエレベーターがいつまでたつても降りて来ないので、戻ってきていた不動産部の柏田課長が階段を駆け上がり手配してくれましたが、ただ待っている入居者様には非常に長く感じられたのではないかと思いました。その後、施設内を歩きながら、接遇面で全体的に十分な対応ができるいいと感じたので、管理者へ改善をお願いしました。良かつた所としては、施設内にあるケアプランセンターに入室した際に、ケアマネジャー全員がきちんと立つて笑顔で挨拶してくれ、帰る時も外まで出てきて見送ってくれたことです。全職員がこのレベルの接遇ができるように、再度徹底をお願いします。

本社でもどの現場においても、お客様目線で確認するということは大切なことです。介護施設においては、職員の目線は第一に入居者様へ向けられており、安全面に配慮して、入居者様の行動範囲を清掃・整頓してくれています。次に、自分達がより効率的に動ける環境を求めて、物の配置や動き方を決めていきます。勿論それらは大切なことですが、いつの間にかその日初めて施設を訪れる方の視点を失いがちです。お盆の時期に来館されるご家族や、入居を検討されているお客様の目線に立つて、外周やエントランスの整備、備品の収納場所等を今一度見直してみましょう。

終戦記念日にあたり

八月十五日は終戦記念日です。日本は、昭和二〇年八月十五日に建国以来初の敗戦を経験しました。敗戦を決定づけた原子爆弾は、広島で約十二万人、長崎で約七万人もの命を奪い、今なお苦しんでいる方もおられます。長崎に投下された原子爆弾は、元々大きな兵器工場があつた小倉市（現在の北九州市小倉北区）に落とされる予定でした。長崎に原爆が投下された八月九日の朝、小倉の上空を厚い雲が覆つて視界が悪かった為に急ぎよ予定が変更となり、長崎に落とされる」とになったのです。昭和十六年生まれの私は、終戦当時まだ四歳で、戦後の復興を目指す日本で成長してきました。国土は焦土と化し、食べるものさえままたない状況でした。私が小学生の頃、同級生に裸足で通学する子やお弁当を持つてこられない子がたくさんいたのをよく覚えています。その後日本は高度成長期に入りますが、当時の大人たちの苦労と頑張りは、現在の豊かで平和な日本人の想像を絶するものでした。私は人生の先輩方のこうした努力にずっと感謝しております、いつか恩返しがしたいという思いを形にしたのが当社の介護部門です。

毎年この時期は、私からのメッセージの中で戦争の話題を取り上げるようにしています。それは、入居者・利用者様への感謝の思いを新しい職員達につないでいきたいという思いと、二度と戦争を起こしてはならないという思いを強く持ち続ける為です。日本は世界で最初に原子爆弾を落とされた国です。だからこそ、悲惨な戦争体験を二度と繰り返してはならないという思いを、世界に強く発信していくなければなりませんし、原子爆弾の最初で最後の被災国であり続けなければならぬと思っています。皆が強く願い、思いを一つにして平和を守りていきましょう。



さわやか愛の家かんだ館オープン!!



さわやか 愛の家かんだ館
福岡県京都郡苅田町大字与原字白石1954-1
TEL.0930-26-6500



平成29年8月1日、福岡県京都郡苅田町に、さわやか倶楽部では11事業所目となる放課後等デイサービス「さわやか愛の家かんだ館(定員10名)」を開所しました。

近隣には白石海岸や簗島山等があり、豊かな自然溢れる環境となっています。庭ではみかんや柿、キウイなど果物の収穫もできます。今後は子ども達と共に畑作りも行い、芋ほりなどを通じて楽しく四季を感じられる療育が計画されています。

・福田 理香センター長よりご挨拶



この度、皆様のご支援を頂きながら、無事「さわやか愛の家かんだ館」を開所させて頂くことができました。

「自然の中で、伸び伸びと生きる力を身に付ける」をテーマに掲げ、楽しい活動、あそびを通して子ども達の支援を行います。野外活動や遊びによって、笑ったり、残念がったり、ドキドキしたり、我慢したり、いろいろな気持ちが育ち、子どもたちの感性を育みます。人や自然を大切にする気持ちの芽が育つよう、かんだ館スタッフ一同笑顔で支援させて頂きます。



この度は多くの方々にお祝いして頂き本当にありがとうございます。ウチヤマグループの社員として、また、父親としても成長できるよう、どうかこれからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

さわやか倶楽部・本社運営部 中矢 秀



名 称	定員・ベッド数	開所予定日
1 さわやか愛の家あかいわ館 [岡山県赤磐市]	放課後等デイサービス(10名)	平成29年10月
2 さわやかさがみはら館 [神奈川県相模原市]	特定施設(67床)	平成29年11月
3 さわやかはままつ館 [静岡県浜松市]	特定施設(60床)	平成29年12月
4 (仮)さわやか和歌山館 [和歌山県和歌山市]	特定施設(60床)	平成30年 1月
5 (仮)さわやか日高館 [埼玉県日高市]	特定施設(52床)	平成30年 2月
6 (仮)さわやか熊谷館 [埼玉県熊谷市]	特定施設(54床)	平成30年 2月
7 (仮)さわやか東大阪館 [大阪府東大阪市]	特定施設(94床)／ショートステイ(31床)	平成30年 2月
8 さわやかあおい館 [静岡県静岡市]	特定施設(50床)	平成30年 3月
9 (仮)さわやか姫路館 [兵庫県姫路市]	特定施設(50床)	平成30年 3月
10 (仮)さわやか岡崎館 [愛知県岡崎市]	特定施設(41床)／ショートステイ(9床)	平成30年 4月
10 さわやか愛の家おかざき館 [愛知県岡崎市]	放課後等デイサービス(10名)	
11 (仮)さわやか我孫子館 [千葉県我孫子市]	特定施設(50床)	平成30年 7月
12 (仮)さわやか草加館 [埼玉県草加市]	特定施設(61床)	平成30年 8月



一人で悩まないで!
あなたのお悩み
話してみませんか?

お気軽にお問い合わせください。お電話、メールお待ちしております!

電話番号

090-9497-5764

メール

sawayakasoudan@docomo.ne.jp